

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
EU41C407		病気の子どもへの支援と実践研究(Seminar in Psychology, Practice, and Research for Sick Children)					高度専門科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	1	教育学研究科	後期		氏名 古長治基 E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147											
授業の概要	本科目はさまざまな病気のもつ子どもへの支援、教育における実践上の課題、支援研究の方法について学ぶ演習科目となる。本授業で取り上げる内容として、特に、近年の病気の子どもへの支援における重要なテーマである医療との連携、医療的ケア、学校現場で実践研究を行っていく上で必要となる、アセスメントの基礎となる考え方、子どもの心理的体験を理解するための手法、実践研究の計画の仕方や考え方、必要となる配慮や近年の課題などが含まれる。病気の子どもを対象として、どのような取り組みが必要となるかを、事例等を通じて議論し、参加者が自ら視点を設定し、課題を明らかにするための演習、発表を取り入れる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 病気の子どもへの支援実践において、医療との連携や評価に関する課題を発見し、説明することができる																	
目標2 病気の子どもに関わる実践研究について、自ら課題を立案し、計画することができる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 病弱領域における近年の課題																	
2 医療との連携における課題																	
3 精神科疾患における医療																	
4 身体障害、健康障害、精神疾患、行動障害の理解に関する枠組み																	
5 子どもの状況を評価するための視点と方法																	
6 心理的発達のアセスメント：体験の理解																	
7 子どもの主観的世界を理解する：遊び																	
8 子どもの主観的世界を理解する：表現																	
9 教育、支援の改善と評価																	
10 支援の実践と研究をつなげる：計画																	
11 支援の実践と研究をつなげる：評価																	
12 支援の実践と研究をつなげる：考察と改善																	
13 病気の子どもへの教育における実践研究のあり方																	
14 倫理的課題																	
15 病気の子どもへの支援と実践研究																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	各回で、参加者の疑問、事例研究などを元にディスカッションの機会を設ける。プレゼンテーション、レポートにより課題に関連した文献の収集、購読、発表が必要となる。					工夫	その	他の								
タイム	B:意見の表現・交換																
メソ	C:応用志向																
ディ	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。発表について、関連事項の調査や発表準備等が必要となる。(15h)															
	事後	関連する資料の調査、講読を行う等(15h)															
教科書	なし。適宜資料を配付する。																
参考書	・特別支援学校学習指導要領、平成29年4月公示、文部科学省 ・特別支援学校学習指導要領解説、平成30年3月、文部科学省 その他、適宜紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	レポート	30%															
	発表	40%															
	議論への貢献	30%															
注意事項	なし。																
備考	発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士
実務経験を いかした教 育内容	支援の実践における事例的理解を含める